

# 中学3年1組 技術・家庭（家庭分野）学習指導案

指導者 青木佳美

## 1 題材名 家庭生活をよりよくしていこう

## 2 題材のねらい

幼児や高齢者との関わりや知識をもとに、家族・家庭・地域について考えを深めることで、これからの生活において家族・家庭・地域における課題を解決する力や実践的態度を養う。

## 3 授業の構想

生徒は1年時の総合的な学習の時間において、高齢者福祉施設を訪問し高齢者との交流を体験している。また、毎年、附属幼稚園小学校中学校の3学校園での交流を行っており、異年齢の人との活動を経験している。これらの経験を自分の身近な家庭生活で活かすには高齢者や幼児の特徴を今一度学び、自分の家庭における課題を見出し、考えを深めることが有効であると考えられる。

また、1・2年時に食生活・衣生活・住生活・消費生活・環境について家庭科の時間に学習してきた。これらの知識や技能の習得は、よりよい家庭生活を創る基本となる。しかし、生活の中ではこれらの内容を断片的に用いるのではなく、生活を創っている家族に合わせ、複合的に取り込んでいる。何気なく繰り返している生活を見つめ直すことで、自分の生活における課題が意識できるであろう。

家庭生活をよりよくするためには、家族・家庭の仕事、地域社会など様々な既修の学習を基に、多面的に課題を見出したり考えを広げ深めたりすることが大切である。そして、将来にわたり生活の中で、課題意識をもち解決に向けて考え実行できる力を養っていききたい。

そこで、本題材を展開するにあたり次の点を大切にしていこう。

**自分の暮らしと関連付けた知識や技能の習得の工夫**として、幼児との触れ合い体験学習や高齢者についての講話を通して得た知識を整理していく。そして、異年齢の人との生活が自分の暮らしとつながっていることに気付かせたい。また、家庭生活のさまざまなことが自分と深くかかわっていて自分も家庭を創っている一員であることを実感させたい。

**身に付けた知識や技能を場面に応じて活用できる課題の設定**として、幼児との触れ合い体験活動を通し感じた課題や、高齢者についての講話を通して感じた課題について、調べ学習行ったり、既修の知識や技能を活用したりして、多面的に解決策を考える。自分の考えを基に、グループでの話し合いを通し、課題解決の力を高めていきたい。

**よりよい生活や社会を創造する力の育成**として、幼児や高齢者との家庭生活について考えたことを基に、現在あるいは未来の自分の家庭生活における様々な課題を見出す力を養う。そして、現在あるいは将来にわたり自分のできることを考え実生活で課題解決をしていく意欲を育む。

#### 4 展開計画（全 13 時間 本時 12/13）

- 家族について考えよう（1 校時）
- 幼児の特徴【遊びの準備・幼稚園の先生の講話を含む】（2・3・4 校時）
- 幼児ふれあい体験学習【幼稚園での活動】（5・6 校時）まとめ（7・8 校時）
- 高齢者について考えよう【社会福祉協議会の方の講話を含む】（9・10・11 校時）
- 家庭生活の課題について、課題解決を目指そう（12 校時・本時）**
- まとめ（13 校時）

#### 5 本時の学習

##### （1）ねらい

家庭生活をよりよくするためにはどうすればよいか、多面的な考え方により課題解決をめざすことが出来る。

##### （2）展開

主な学習場面と子どもの取組	教師の支援と願い・評価
<p>1. 設定の家族について確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>家庭生活をよりよくするために、課題に対する解決策を考えよう。</p> </div> <p>2. 設定の家庭での課題を見つける。  <b>【個人→班で共有】</b>（ホワイトボード）            →祖母の元気がない。            ・家事が大変 ・孫の面倒をみて疲労            ・コミュニケーションが少ない            ・膝が痛い</p> <p>3. 解決策を考える。具体的な方策も考える。  <b>【班】</b>（ホワイトボード）            →家事を祖母に集中させないためには…            ・家族の協力            ・両親の働き方改革            ・地域による子育て支援 等</p> <p>4. 班の意見を学級全体で共有する。（メモを取りながら聞く。）</p> <p>5. 振り返り            家庭生活の課題を見つけることができたか、解決策を多面的に考えることができたかを中心に振り返り、さらに自分の生活について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前（9 時間目）に「自分の家庭生活の課題」を考えさせ、その内容をもとに、いろいろな課題を含んでいる設定の家庭を作っておく。</li> <li>・本時のめあてを知る。</li> <li>・8 時間目に調べた「幼児について気になること」の一覧も参考にするよう伝える。</li> <li>・考える視点が持ちやすいように、ループリックを提示する。</li> <li>・家族・家庭の問題の原因は一つだけではなく様々なことが絡み合い生じていることを認識させたい。</li> <li>・多面的に解決策を考え、家族での協力も必要だがさらに家族から地域へ広げて考えることもできる視点を持たせたい。</li> <li>・多くの意見を共有することで、実生活での課題と解決策をより深く考えさせたい。</li> <li>・設定の家族について考えたことが、自分の家族にもつながっていることを感じさせたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【評価の観点（生活を創意工夫する能力）】</b>            家庭生活の課題について、多面的な考えを用い解決策を考えることができる。            （評価方法 話し合い ワークシート）</p> </div>